

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・営業努力は当然行っているが、それ以上に、特に本土客が増加している。
		一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・相変わらず外国人観光客が増えている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・これまで低迷していた衣料品売上が、今月は押し上げる形で貢献している。また、化粧品売上は好調をキープしており、インバウンド客も含めると、全館売上への貢献度が大きい。免税売上にはならないが、食品総菜売場でのインバウンド客の食事も陰の貢献度は高い。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年より増加しており売上に貢献している。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの旅行取扱はまずまずの結果だった。だが財布のひもはまだ固い。
		その他のサービス 〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・今年はゴールデンウィークの日並びが良かったこともあり旅行代理店、インターネットからの予約が好調に推移した。沖縄県入域観光客数も前年を上回るものと予想される。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・客単価は前年並みだが、来客数が若干マイナスとなり売上は前年比でマイナスとなっている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・レンタカー需要で新車の受注が好調である。中古車の動きも良い。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率の前年同月比での実績プラス幅が、2～3か月前と同様に前年を上回っており、好調である。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・複数の商業店舗施設の工事契約など予期しなかった受注があり、手持ち工事は安定している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中の入客数は例年並みだったが、ゴールデンウィーク後の平日は落ち込み、前年より15%ほど減っている。特に地元客の減少が目立つ。
		住宅販売会社（営業担当）	単価の動き	・職人不足により、戸建て住宅施工費の原価が押し上げられているため、利益確保が厳しい状況である。
	x	商店街（代表者）	単価の動き	・商店街の零細企業は大型店には値段の面で太刀打ちできないので、大変危機感を持っている。また、商店街では最近、販売店が減って飲み屋が多くなっている。立ち飲み屋等も価格競争して単価を落としているようで、ある程度客はいてもなかなか売上は伸びないため大変危惧している。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークや観光関連需要及び特売効果により売上がやや伸びている。
		*	*	*
	x	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は前年比減、民間は前年比やや増で、全体では横ばいである。
	x	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築、リフォーム共に受注がパタッと止まった。
雇用 関連  (沖縄)		-	-	-
		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・2月度の週平均件数と比較すると41件増だったので、やや良くなっているとみられる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・今月をもって大型の合同企業説明会があらかた終了し、本格的に選考試験が始まっている。優秀な人材については、早めに結果を出している企業が多い。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・企業からの求人は引き続き堅調だが、派遣登録している求職者は低調傾向である。
		x	-	-